

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	Watercleft眼の視機能と視機能低下要因
研究機関名	金沢医科大学
研究責任者	金沢医科大学 眼科学 佐々木洋
研究期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2025 年 3 月
対象者	2013年、2014年、2015年、2016年に石川県門前町で行っている眼科検診受診者のうち、60歳以上で白内障およびその他の眼疾患がない方、および白内障副病型の1つである Water clefts (WC) の単独混濁があった方、2013年10月から2017年11月までの間に当院眼科で白内障診断 (WC単独混濁) を受けられた方が対象となります。
当該研究の意義・目的	白内障の副病型の1つであるWCは、水晶体皮質浅層のY字縫合に沿って皮質層が分離し隙間が生じることで起こります。皮質、核、後囊下混濁といった白内障主病型とは異なり、明確な混濁として観察されにくいですが、患者の視機能は単眼二重視、三重視といった特徴的な症状をきたし、視機能低下を生じることが知られています。今回の研究は、WCを形態別に3群に分け、透明眼を対照にそれぞれの視機能を比較し、WC形態別での視機能への影響とその要因について明らかにすることです。
方法および研究で利用する試料・情報について	この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。上記期間中に得られた水晶体の所見および検査データ（視力、眼屈折、コントラスト視力、眼軸長、前方散乱、後方散乱、眼高次収差、水晶体画像等）を本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。全てのデータは、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。カルテ番号等の対応表は、眼科の研究責任者が保管・管理します。眼科検診および対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査し、白内障診断と視機能に関するデータを解析に利用させていただきます。
外部への資料・情報の提供	新たな検査・治療は一切発生いたしません。他施設へは提供しません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学（病院）眼科 佐々木洋 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511（2211）内線（3415）

作成日： 2019年1月23日